



# 吉田地区 住民自治協議会だより

50号

キャッチフレーズ 「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

発行責任者 水内 和義 編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会  
事務局住所 長野市吉田3-22-41 ノルテナがの2階 TEL 026-263-6224 FAX 026-266-0371

令和5年度

## 吉田地区成人式

令和6年1月7日



本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を催してくださり、また皆様より温かいお祝いや激励の言葉をいただき、誠にありがとうございます。

今日に至るまで、私たちを育ててくれた家族や、ご指導いただいた先生、成長を見守って下さった地域の方々など、たくさんの方々を支えられてきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

今年に入ってからというものの、大規模地震や航空機の衝突事故などの不幸が重なり、先行きが不安な情勢ではありますが、そのような状況でも決して目標を見失わず、社会の一員であることを自覚し、今自分にできることに日々邁進していきたいと思えます。

まだまだ未熟ではありますが、これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしく願います。

簡単ではございますが、これをもって新成人代表の挨拶とさせていただきます。

令和5年度 新成人代表 三井 陽平

本日は、成人を迎えた私たちのためにこのような盛大な式典を催していただき、また、皆様より温かいお祝いのお言葉をいただき心からお礼申し上げます。

今日無事に成人式という大きな節目を迎えられたのも、成長を見守ってくださった先生方や地域の方々、様々な思い出を作ってきた友人、そして愛情をもって日々支えてくれた家族のおかげであることを深く感謝申し上げます。

今この会場には就職している人や勉強を頑張っている人、オーストラリア留学に行っている人など様々です。これから社会の一員として皆さんの素晴らしい個性を發揮しながら活躍していきましょう。

これからもご指導ご鞭撻のほどよろしく願います。簡単ではございますが、これもちままして新成人代表の挨拶とさせていただきます。

令和5年度 新成人代表 水元 叶





令和5年度  
成人式



成人式出席者 134名



躍されています。  
をされるなど活  
係の仕事や講演  
もらい、福祉関  
んからパワーを  
さんも福太郎さ  
されています。順  
され、活躍され  
ています。順子  
さんも福太郎さ  
んからパワーを  
もらい、福祉関  
係の仕事や講演  
をされるなど活  
躍されています。



講演後、義足を手にする  
人々と山崎さん

山崎順子さんの長男福太郎さんは、お母さんのおなかにいる間に、片足と片手にひも状の物質が巻き付き、片足と片手が生育しきれないまま生まれた。順子さんは、さんさんに泣きました。さんさんに泣いた後、現実を受け入れて生きていく覚悟ができました。福太郎さんは、与えられた手足をフルに使って、元気に成長していくのです。順子さんは、福太郎さんの生命力を信じて応援していく決心をしました。幼い時から、義足を使えるよう整形手術をし、体に合わせた義足をあつらえ、大人になるまでには10本近くの義足をあつらえることになりました。福太郎さんは、障害を自分の個性と感じていて、そういう気持ちを中学生の時に順子さんに伝えた言葉が、演題の「僕はぼくだから」という言葉です。福太郎さんは、中学・高校では柔道部に所属し、中学3年生のときには生徒会長になりました。大学在学中にはスキーでパラリンピック出場を目指し、ソチ・パラリンピックで大回転と回転で完走することができました。福太郎さんはその後長野県の中学校教諭となり、ご結婚もされ、活躍されています。順子さんも福太郎さんからパワーをもらい、福祉関係の仕事や講演をされるなど活躍されています。

第23回

吉田地区人権を認め合う  
住民の集い

令和5年11月10日(金) 長野市立吉田小学校  
講演：「僕はぼくだから」  
(夢にはばたく〜夢の応援団)

講師：山崎順子さん(上田市在住)  
講演内容要旨：

講演内容要旨：

人権教育委員会



公民館委員会

第37回

吉田町文化祭

11月12日(日)、ノルテながのにて吉田町文化祭を開催しました。

令和元年10月の台風19号災害で、区内の運動公園体育館が避難所になったため、11月の文化祭を中止としました。また翌年からは新型コロナウイルス感染症予防で、3年間文化祭の開催を見合わせたため、5年ぶりの開催となりました。

4年間開催してなかったため、舞台部門、展示部門とも、発表する団体や個人の皆さんが集まるのかわからず、またこの間に各町から選出の主任さんもだいたい入れ替わり、最後に開催された平成30年に文化祭の運営にかかわった方が少ないなか、運営がうまくいくのかという不安もありました。

ところが、文化祭開催案内の回覧を出したところ、予想を上回る皆さんに申し込みをしていただき、展示会場となったノルテながのの各教室とロビーはすべて展示品で埋まり、舞台部門は観客席がほぼ満席に近い状態が最後まで続きました。過去に遡っても、最も盛況な文化祭だったと思います。

公民館委員会の多くの主任さんは、初めての運営にもかかわらず、それぞれの役割をしっかりと果たしていただき、問題なく運営できました。感謝です。

これからも、吉田の皆さんの文化活動の発表の場として、永く続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。





福祉委員会



福祉活動情報交換会

福祉活動情報交換会

令和5年9月12日(火)に「吉田地区のサロンのこれからを考える」とのテーマで開催されました。各地区区長さんをはじめ、日頃から地域福祉に携わっている方々にご参加願ひ、グループワークではメンバーが途中で入れ替わり他グループの意見も持ち寄る「ワールドカフェ」という形式をとりました。主におしゃべりサロン(お茶のみサロン)の開催や内容と、準備からのご苦労等それぞれの状況を伝え、学びあうことができました。

福祉推進員研修会・地域ネットワーク会議

10月24日(火)には、9月の地域福祉活動情報交換会を拡大する形で、吉田地区内にある介護保険事業所の皆さんにも加わっていただき、福祉推進員研修会・地域ネットワーク会議を開催しました。



「地域とつながろう、ネットワークづくり」をテーマに掲げて地域や事業所での困りごと、こうなったらいいな、それに向けた提案・アイデアについてグループワークで話し合いました。



アンケートでは、地域のことや地域の人を知る機会になった、地区の活動に役立てたい、事業所としてお役に立ちたい等、今後の継続的な開催や関係性の維持を望む意見も寄せられました。

男性の地域デビュー

料理教室

令和5年12月20日(水)に男性の地域デビュー料理教室



を開催しました。管理栄養士の山岸朋美さんを講師に迎えて、その指導のもとで、「家族にも喜ばれる簡単メニュー」のレシピで、ドライカレーとブロッコリーごま和え、りんごホットケーキに挑みました。10名での講座にな



りました。食材の刻み、炒め、焼き、和えるという工程が進み、予定時間内には片付けることができず、持ち帰り予定で、帰宅して昼食に間に合うタイミングでしたので、必ず再加熱することを重ねてお願いしました。短時間ながら、皆さん充足された時間を過ごされたのではないでしょう。

保健委員会

- 8/9・10/11(水)
- 「ヨガでリラクゼーション」
- 9/13(水)
- 「やさしい筋力トレーニング」
- 11/8(水)
- 「タオルを使ってストレッチ」
- 1/10(水)
- 「ボールを使って健康体操」



6月から12月を除き、1月まで第2水曜日10時から健康講座運動講習会を開催しました。

健康運動指導士の清水由佳先生の楽しい会話と無理のないご指導により、体をほぐしていきます。徐々に後方の見える範囲も広がり、柔軟性がついてきたことを実感します。「家でもここでの動きを取り入れてみて」と毎日の生活の中で継続して体を動かすことを勧めます。



と心を調和のとれた状態に保つことが重要で、ゆったりとした時間が流れます。

新年度も回覧で案内しますので、タオル、飲み物、マスクを持参し、会場に足をお運び下さい。



◆編集後記◆

令和5年度最後の「吉田地区住民自治協議会だより」をお届けします。今回は「令和5年度吉田地区成人式」、「吉田町文化祭」などについて掲載しました。

新成人となった皆さんには、吉田地区の新たな力として今後の活躍をお祈りいたします。

1月1日発生した能登半島地震では震源地周辺で甚大な被害がありました。長野市も善光寺地震から約180年経ちます。改めて災害が発生した場合について、家族で話し合ってみましょう。

(編集委員会一同)